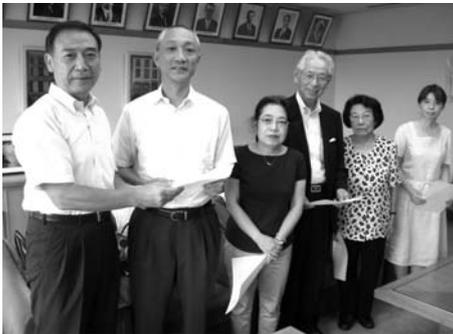


芦屋市長並びに芦屋市議会議員を訪問

まちづくりの早期事業化について要望書を提出

秋たけなわ、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、当まちづくり研究会では、去る、8月23日に山中健芦屋市長並びに畑中俊彦市議会議員を訪ね、平成13年度以降延期になっている「JR芦屋駅南地区まちづくり」の早期事業化について要望書並びに申入書を提出し、私達のまちづくりに対する熱い思いを伝えました。



提出した要望書 (山中健市長に要望書提出)



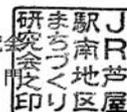
(畑中議長に要望書提出)

平成23年8月23日

芦屋市長 山中 健 様

JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

代表 喜田 清左衛門



JR 芦屋駅南地区まちづくりの早期事業化について (要望)

「JR 芦屋駅南地区まちづくり」につきまして、市長、副市長並びに担当市職員の皆様には、並々ならぬご努力を頂き、大変感謝しております。

最初に、この度の「東日本大震災」により被災された皆様に、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、皆様の安全と一日も早い復興を心より祈念しております。

平成13年12月に、JR 芦屋駅南地区市街地再開発事業の実施が、財政の問題を理由と致しまして延期になって以来、もう10年が経過しようとしています。

そして、「阪神大震災」より、16年が経過しようとしています。

当初、「阪神大震災」からの復興も期待して、「JR 芦屋駅南地区まちづくり」を研究して参りましたが、未だに実施されていないのは、芦屋市は、「阪神大震災」より、残念ながら復興を成し得ていないと言うことです。

勿論、「JR 芦屋駅南地区まちづくり」実現には、健全な芦屋市の財政体質が不可欠であり、厳しい道程であることは、十分に承知しております。

また、他にも解決して行かなければならない「阪神大震災」の後遺症もあると思えます。

一刻も早く、「JR 芦屋駅南地区まちづくり」を早期に事業化して、「阪神大震災」からの復興の、大きな一歩をさらに進めて頂きますよう、市長におかれましては、最大の熱意と努力を注いでくださることを心より要望いたします。

そして、「東日本大震災」により被災された皆様に勇気づける芦屋市にして頂きたいと思えます。

常に私達は、強い熱意と強烈な夢を持ちつづけております。

第21回 まちづくり研究会総会を開催

去る平成23年5月28日(土)午後2時より茶屋集会所において、第21回JR芦屋駅南地区まちづくり研究会総会を開催しました。当日は、芦屋市から岡本副市長を来賓にお迎えし、以下の項目について報告・審議され、いずれも原案どおり承認されました。

平成22年度 活動報告

年月日	事項	概要
H22.4.30	第41回世話人会	・第20回JR芦屋駅南地区まちづくり研究会総会について
H22.5.22	第20回総会	・平成21年度活動報告等について ・平成22年度世話人の承認について ・平成22年度活動計画・予算について
H22.8.31	市へ要望書 市議会へ申入書の提出	・市へ早期事業化の要望書を提出 ・市議会へ早期事業化の申入書を提出
H22.10	No.25ニュース発行	・早期事業化についての要望書を提出 ・平成22年度総会を開催

平成22年度 収支決算報告

<収入の部>

費目	決算額	摘要
補助金	15,000	市からの補助金
雑収入	0	預金利息
繰越金	5,000	平成21年度からの繰越金
合計	20,000	

<支出の部>

費目	決算額	摘要
会議費	0	
調査研究費	0	
広報費	0	
通信費	15,200	会議案内等
事務費	0	
合計	15,200	

・22年度残金 20,000-15,200 = 4,800円

・次年度繰越金 4,800円

平成23年度 まちづくり研究会 世話人

役職	氏名	役職	氏名
代表	喜田 清左衛門	世話人	河本 研一
副代表	馬淵 美代	世話人	中西 登
副代表	森 百代	世話人	大竹 吼一
会計	小材 天良	監事	南出 秀夫
世話人	喜田 和子		

平成23年度 活動計画(案)

1)まちづくりに関する調査研究、計画立案活動

- ① JR芦屋駅南地区にふさわしいまち並み誘導イメージの検討(魅力的でおしゃれなまち並みの誘導等)
- ② JR芦屋駅南地区独自のルールづくりの検討(魅力的なまち並み誘導、環境マナーの誘導等)
- ③ JR芦屋駅南地区整備促進手法の検討
- ④ その他、JR芦屋駅南地区まちづくり研究に必要なこと

2)まちづくり研究会構成員等への広報・啓発・研修活動

- ① まちづくり研究会ニュース等の広報紙の発行
- ② まちづくりに関する説明会、勉強会、懇話会等の実施
- ③ その他、研究会構成員等への広報、啓発、研修活動に必要なこと

3)まちづくり研究会の協議の運営活動等

- ① 役員会、世話人会、全体集會等の開催
- ② 行政との協議、調整(要望書の提出を含む)
- ③ 関係機関、各種団体等との協議、調整
- ④ その他、まちづくり研究会の協議、運営に必要なこと

平成23年度 活動予算(案)

<収入の部>

費目	予算額	摘要
補助金	15,000	市からの補助金
雑収入	1	預金利息
繰越金	4,800	22年度からの繰越金
合計	19,801	

<支出の部>

費目	予算額	摘要
会議費	4,000	全体会、世話人会等開催費用
調査研究費	4,000	検討資料作成等費用
広報費	1,000	まちづくりニュース発行等
通信費	10,000	会議案内、ニュース送付等
事務費	801	消耗品等
予備費	0	
合計	19,801	

.....<お問い合わせ先>.....

JR芦屋駅南地区まちづくり研究会

(事務局) ☎659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市都市環境部都市整備課

☎0797-38-2074

■お知らせ■

平成23年度、芦屋市の予算において調査費が計上されました。

今年度は、JR芦屋駅南地区の現況把握のため、以下の日程でJR芦屋駅周辺において交通量調査等が実施されます。

平成23年10月23日(日)、26日(水) 24時間調査

大雨等で実施出来なかった場合は、平成23年10月30日(日)、11月1日(火)に実施されます。